

**平成 20 年度・平成 21 年度**  
**～実践型人材養成システム普及のための地域モデル事業**  
**実施団体好事例集～**  
**【⑤福井県菓子工業組合（菓子製造・菓子資材販売）】**

○モデル事業導入にあたって

実践型人材養成システム普及のための地域モデル事業（システム構築事業）の導入にあたっては、全国の菓子工業組合等へ実践型人材養成システムの普及を図るために、菓子製造業に携わる実践的な職業訓練に取り組むための先導的モデルを構築することを目的とし、若者の人材確保と現場の中核となる実践的な技能・技術を備えた職業人を育成するために、企業が主体となって新規採用者等を対象に実践型人材養成システム事業を実施するにあたり、下記に掲げるような取り組みを実施することとしました。

- ① 傘下企業に対する人材確保・育成ニーズ調査
- ② 訓練実施に関心のある企業向け説明会の開催
- ③ 訓練実施予定企業共通のモデルカリキュラム及び能力評価マニュアルの作成
- ④ 訓練担当者の育成
- ⑤ 訓練希望者と訓練予定企業の合同説明会・面接会の開催
- ⑥ 菓子製造実践型人材養成コースの訓練実施

○企業におけるメリット

- ・新規採用者等の育成に効果的である。
- ・従来の訓練の実施内容を見直し、効率的な教育訓練が出来る。
- ・キャリアの助成金が活用できるので、従業員の教育に関する経費負担の軽減ができる。
- ・Off-Jt訓練を組合で実施できるので、各組合員の負担が少ない。
- ・実施にあたり組合より支援が受けられる。
- ・同世代の横の繋がりが出来、お互いにコミュニケーションが図れる。
- ・小規模事業所ではカリキュラム作成は難しいが、組合で支援が受けられる。
- ・製造及び販売に従事している受講者が、全般的に製造・販売の訓練を受けられる。
- ・訓練受講者は、この訓練を受講することに大変満足している。
- ・安全衛生作業について細かく実施していなかったのが、細かく指導を受けたことは良かった。

- ・ 訓練受講者以外の従業員にも、前向きな取り組みが見受けられ、特にOJT等の指導者には効果的であった。

#### ○モデル事業実施（訓練実施）における好事例

- ・ 社会人として役立つ訓練（商品として店頭に出せるものの作成）ができた。
- ・ 生産現場で即戦力として役立つ訓練（現場で日々実施している課題）ができた。
- ・ 安全作業手順書の作成により実習内容の把握をはじめ、5Sや確認作業等体系的に安全・衛生教育ができた。
- ・ 和菓子、洋菓子の基本的課題製作に取り組むにあたり、テキストを工夫したことがよかった。
- ・ OJT訓練において、「実習(OJT)指導記録簿」を作成することにより、お互いの理解度が確認出来たことがよかった。
- ・ 指導にあたり、AV教材を活用することが効果的だった。

#### ○これから取り組む企業の方へ

- ・ 実践型人材養成システム事業全体を理解すること。
- ・ 各種助成制度の手続きなどを理解すること。
- ・ 実施にあたり社内での合意形成を図ること。
- ・ OJT訓練の内容を、実際に作業する職場に併せて作成すること。
- ・ 厚生労働大臣の実施計画認定申請を早く手続きしないと、募集要項にその旨が明記できないので募集効果が薄れる。
- ・ 実施計画認定申請書等書類の作成に時間がかかるので、早めに取り組むこと。

- ◎ これから取り組むにあたり、組合として実践型人材養成システム事業に精通した人材を配置し、各企業に支援できる体制づくりが必要であると思われる。